



庄原赤十字病院
感染管理認定看護師
山根啓幸

新型インフルエンザ

皆さん『新型インフルエンザ』という言葉をご存知でしょうか？

その名の通り、新しい型のインフルエンザという意味です。これまでヒトに感染しなかった型のインフルエンザウイルスがその性質を変え（変異し）、ヒトへと感染するようにになり、そしてヒトからヒトへと感染するようにになると『新型インフルエンザ』となります。これまで「スペインかぜ」・「アジアかぜ」・「香港かぜ」という名前で世界的に大流行し、多いときには世界で数千万人が亡くなられています。現在、数あるインフルエンザの中でもH5N1型、通称『トリインフルエンザ』が変異し、新型インフルエンザとなる可能性が

強く示唆されています。

新型インフルエンザが発生した場合、すべての人々はそのウイルスに対して抵抗力（免疫）を持たないため、新型インフルエンザは、ヒトの間で広範囲にかつ急速に拡がると考えられます。さらに、飛行機など交通機関の発達などから、短期間に地球全体に拡大すると考えられます。これは庄原も例外ではありません。

さて、その可能性を最も示唆されている『トリインフルエンザ』ですが、タイ・ベトナム・インドネシアなどを中心に多くの国で発生しており、平成19年7月11日の時点で、患者数318人、死者192人、死亡率は60・4%と非常に高率です。〔国立感染症研究所感染症情報センター【http://idsc.nih.go.jp/disease/vian_influenza/】〕
現在も『トリインフルエンザ』に関しては不明なことが多く、新たに認可されたワクチンや現在の抗インフルエンザウイルス薬【タミフル・リレンザ・アマンタ

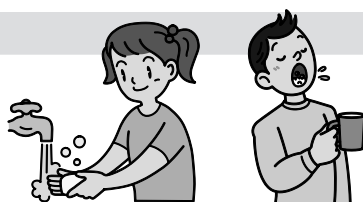
ジン】がどの程度効果があるか、明確にされていません。

また、新型インフルエンザが発生した場合、国【厚生労働省】は、日本人の4人に1人（3200万人）が感染し、死亡者は64万人に達すると予測しています。

それに対して国は、タミフルの備蓄、ワクチン接種、保健所による対応などを挙げ、拡大を防止・最小限にしようとしています。しかし、現実的には、それらの対応だけで感染拡大を防止することは不可能なため、皆さん一人一人の対応・予防が必要になってきます。さらに、現在流行しているインフルエンザと新型インフルエンザは臨床現場で判別することはとても困難なことから、新型インフルエンザを含めて、インフルエンザにかからないよう予防することが、最も重要であると考えます。そこで、次に挙げる内容を守って、インフルエンザを予防することをすすめます。

年間を通して注意していただくこと

- ・ 外出後（帰宅時）、必ずうがいと手洗いをを行う
- ・ 十分に休養をとって、抵抗力を高める
- ・ 日頃からバランスの良い食事、栄養素をとる

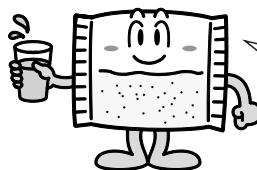


インフルエンザ流行期(通常11月～4月)に注意していただくこと

- ・ 人が集まる場所 や 病院 に行く際は、必ず サージカルマスク (※) を着用する
症状の有無に関わらず、来院されるご自身やご家族、入院患者さんの身を守るためにとても重要です！

※通常のガーゼマスクは効果があまりないので、『サージカル』と名のつくマスクを着用しましょう

- ・ インフルエンザワクチンを接種する
- ・ (不必要な)人混み、繁華街への外出を控える
- ・ 新型インフルエンザの情報に耳を傾ける
- ・ 流行地への旅行や訪問を避ける



マスク・うがいは大切だよ♥

現状では、『新型インフルエンザ』の発生と流行を防ぐことは困難であるため、市民の皆さん一人一人の認識と予防が重要となってきます。ご自身だけでなく、大切な家族・友人を守るためにも、インフルエンザに負けない体づくりと予防に努めましょう。